



たかといちどいだよ!



平成29年12月 第27号

たかといちどい保育園



早いものでもう12月。今年も残り1ヶ月となり、師走の慌ただしさを感じるこの頃になりましたが、皆さんはいかがでしょう。

昔はこの時期になると、1年の汚れを落とし綺麗な状態で新年を迎えようと、普段はあまり行わない、窓ふき、家の中の整理整頓、家の外回り、などの大掃除を行っていたと思います。私が子どもの頃は、手伝いをさせられていました。例えば、窓ふきや床拭き等の雑巾がけが多かったです。また、12月31日まではお店も大賑わいでしたし、家庭では3日分の買いだめをしたりお節料理を作ったりで、三が日を迎える準備で大忙しでした。そして、新年を迎えると、打って変わって三が日だけ、お店は閉まり静かになっていました。しかし家では家族、親戚が新年の挨拶を兼ねて集まり大宴会になっていました。この1日で、年末のあわただしさから年始の静けさへの極端な変化を感じ、新年だという気持ちの切り替えもしやすかったのではないかと思います。しかし最近ではそんな家庭は少なくなってきたように思います。大掃除は専門家の代行サービスがあり、お節料理はセットになったものが売られていたり、お店は元旦から開いていたり、年末までにバタバタしなくてもよくなりました。実際我が家でも20年前、娘が子どもの頃には、家族の中で担当を決めて大掃除をしていましたし、お節料理も作っていましたが、ここ最近では時代の流れに飲み込まれてしまっています。

今一度「新たな気持ちで1年を迎える、けじめ」という大切なところを子どもたちに伝えていきたいと思います。
越智 るみ子

10月号ではコーナー遊びについてお伝えしましたが、今回は子どもたちがよく遊んでいる玩具をいくつか紹介したいと思います。

ネフスピール



縦・横・斜めだけでなくアクロバットな積み方など、何通りもあります。集中力と想像力を養います。

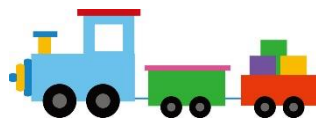
ボタン状のピースを、柔らかいプレートに押さえるようにはめて模様を作るモザイク遊び。絵を描くように自分で差し込んでいく面白さが、意欲と想像力を豊かに育てます。

リモーザ



1歳頃から使えるとても万能な玩具。付属のひもやサイコロを使って、ひも通し、ペグさし、ゲーム、積み木、ままごと…子どもの発想でいくらでも遊びが広がる玩具です。

クイップス



プラステン

可愛い絵が描かれた厚紙のシートに空いた穴に、色の付いた木製パーツを置いていく、シンプルで成長に合わせた遊び&ゲームが楽しめる玩具です。色や数に興味を持ち始めた頃におすすめです。



保育園では、各保育室に月齢や発達に合わせて様々な玩具を用意し、子どもたちが自分で選んで遊べるよう環境を整えています。乳児の時期には、一人ひとりが好きな玩具で大人と一緒にじっくりと遊ぶ時間を大切にしています。その時間を積み重ねることで、成長するにつれ子どもたちだけで遊べるようになり、そこから友だちとの関わりがどんどん広がっていくのです。これからも、友だちや保育士と関わって遊ぶ中で、集中力や想像力、工夫する力が育まれるよう、子どもたちにとって楽しく魅力的な環境を作っていきます。

許斐 祐美



あさひぐみ



先月は、初めて散歩へ出かけました。公園までの道のりでは、「あーあー」や「バイバイ」と車や虫を指さして喜んだり、バギーからちょこんと可愛く顔を出したりと、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。公園では、どんぐりや落ち葉を拾って嬉しそうに見せる姿が印象的でした。秋の自然を感じたり、保育士と手を繋いで一緒に歩いたりして、広い公園でのびのびと体を動かして遊びました。これからも、気持ちの良い晴れた日には屋上園庭やテラスで過ごす機会をもち、元気に遊べるようにしたいと思います。

最近では1日の生活の流れがよくわかってきて、「お片付けして〇〇しようね」と声をかけると、高月齢の子どもたちは少しずつ保育士と一緒に片付けができるようになりました。「あっちの積み木を持ってきて、〇〇ちゃんに渡してくれる？」とお願いすると、「お安い御用」とばかりにお手伝いしています。それを見ている低月齢の子どもも、そばにある玩具をカゴに入れるようになりました。今後も一つひとつの事を丁寧に伝えていき、次の見通しが持てるよう関わっていきます。

今月は製作や歌を通して、クリスマスを楽しめるようにしていきます。また、巧技台やはしごなどの運動用具で、のぼる・おりる・またぐなど手足をしっかりと使って体を動かして遊べるようにしたいと思います。

河原 彩夏



ひかりぐみ

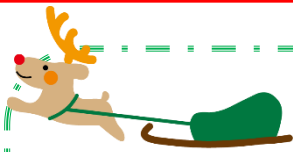


先月は、やきいも屋さんごっこをしました。「さつまのおいも」という絵本が大好きで、やきいも作りの前に読むと、「おいもする〜」「もっと〜」と楽しんで作る姿が見られました。紫色の絵の具でタンポを使いポンポンと色付けをしたり、黄色の花紙をギュギュッと画用紙で作った筒に詰めたりしてとても美味しそうな焼きいもが出来上がり、嬉しそうな表情の子どもたち。やきいも屋さんごっこでは、エプロンと三角巾をつけ、「いらっしゃいませ〜」「どうぞ」と、出来上がった焼きいもを使って、保育士や友だちとのやりとりを喜んでいました。

最近では、自分から食事の前に丁寧に石けんで手洗いをしたり、食後にタオルで手や口を拭いたりして、一人ひとりが意欲的に身の回りの事をしようとする姿が見られます。その姿を見守り、子どもたちの「自分でする」「自分でできたよ」という経験がたくさん増えるように、これからも自分でしようとする姿を認めながら、保育士が手本を見せ正しい方法を知らせ、丁寧に援助していきます。

今月は、クリスマスの製作をしたり、歌をうたったりして季節の行事を楽しめるようにしたいと思います。また、一人ひとりが健康に過ごせるように、手洗いや室内の換気等をしっかりと行い環境を整える事で、風邪や感染症予防に努めていきます。

植田 絵理



12月の予定



乳児クラス懇談会	2日(土)	誕生会	8日(金)
体育あそび	14日(木) ※今月は1回です。		
歯科検診(4.5歳児)	14日(木)	避難訓練	20日(水)
発育測定	22日(金)~26日(火)		
クリスマス会	25日(月)		
年末年始のお休み	12月29日(金)~1月3日(水)		





にじぐみ



先月は、どんぐりを探しにお散歩に行きました。友だち同士で手を繋いで公園まで歩く事にも少しずつ慣れ、歌をうたいながら楽しそうに歩く姿が見られました。公園では、たくさん落ちていたどんぐりに夢中になり、ひとつ見つけるたびに保育士や友だちに「みてー」「いっぱいあったよ」と自分で拾ったどんぐりを嬉しそうに見せていました。帰る頃には、お散歩バッグから何度もこぼれ落ちるほど集める子どもたちでした。今後もその季節の話をしたり、自然物の写真を見せたりする機会を作り、興味や関心を広げていきます。

最近、「トイレ行こう？」と声を掛けて誘うと、意欲的に向かおうとする姿がたくさん見られるようになってきました。便器へも必ず座りに行き、「でた！」と大きな声で伝えています。また、パンツで半日や一日過ごす子どもも少しずつ増えてきました。一人ひとりのタイミングや様子に合わせて誘いかけ、トイレで排泄しようとする意欲を大切にしていきたいと思います。

今月はおはなしを通してごっこ遊びや友だち同士のやりとりがたくさんできるよう、様々な絵本を見たり聞いたりする時間を多く作っていきたくて考えています。 菅俣 楓音



きりんグループ



寒くなり、きりんグループでは、「せんせい、さむいからふくきてもいい？」「じぶんでできたよ！」と子どもたちが進んで衣服の調節を行っています。4、5歳児が自分でする姿を真似て、3歳児も一人で衣服の着脱や調節をしようとしています。子ども自身で行っている姿を見守りながら、気温や活動に応じて保育士からも声を掛け、風邪や感染症の予防にも努めています。

先月は秋祭りごっこに向けて、焼きそば・綿菓子・的当てを作ってきました。それぞれ係に分かれ、分担して作りました。綿菓子では、割り箸に綿を付け、可愛い袋も作り、焼きそばは毛糸を麺に見立てて山盛り用意し、画用紙やフェルトを具にしました。的当ては子どもが紙皿に可愛い絵を描いて、的を作りました。当日もとても張り切って、「やきそばはいかがですか〜？」「やすいですよ！」等と、屋台のお店屋さんになりきっていた子どもたち。秋祭りごっこが終わってからも、自分たちで引き続きごっこ遊びを楽しんでいます。

12月は、子どもたちが楽しみにしているクリスマス会があります。サンタさんのことや、どんなプレゼントが欲しいかを子どもたちと話しながら、より期待が膨らむようにしていきたいです。そして、手作り楽器で音楽会ごっこをしようと考えているので、好きな楽器を作り、楽器に親しみをもって遊べるようにしていきます。 中丁 紗穂



ぞうグループ



11月は、秋祭りごっこに向けて、お祭りについて調べたり話し合いをしたりし、皆で屋台にはどのようなお店があるか考えてきました。「おこのみやき〜わたあめ〜りんごあめ〜たこやき〜きんぎょ〜すくい〜おめん」と様々なお店の種類があがってきた中で、ぞうグループはりんご飴、たこやき、お面やさんをする事に決定！「たこやきはしんぶんでもるくして、がようしをまこう！ソースはこれをつかおう」「りんごあめのあかいろはこのかみをはろう」と工夫し、子どもたちオリジナルの品がたくさん出来上がりました。また、「わたしはこっちでのりをはるから〇〇ちゃんは、まるめてくれる？」と役割を決め、遊びを進めていく姿も見られます。「おきゃくさんたくさんくるといいね」「100こぐらいつくらないとたりないかもね」と一生懸命作る子どもたち。秋祭りごっこ当日は、「いらっしゃいませ〜」「おいしいですよ！」「いっぱいかってください〜」とお店の人になりきって楽しんだり、「こんなにいっぱいかったよ」と嬉しそうに買ったものを見せ合ったりし、ごっこ遊びを大満喫していました。

生活面では、手洗いうがいの大切さをその都度伝える事で、「てはここまでしっかりあらうんだよね」「そとからかえってきたら、がらがらうがいをする」「て、きれいになってる？」と自分たちで意識して確認し丁寧に取り組んでいます。今後も一人ひとりの取り組む姿を認め、必要に応じて一緒に行ったり確認をしたりする事で、清潔面や衛生面に対する意識を高め、風邪や感染症の予防に努めていきます。今月は様々な素材を使って、手作り楽器をつくり、その楽器を使って音楽会ごっこを楽しみたいと考えています。 長田 麻里